

# ジョブ・クラフティングを活用した、 教員が生き生き働く学年マネジメント —認知的クラフティングの促進を中心として—

教育実践高度化専攻 学校マネジメントコース

櫻井 崇浩

本研究は、教員が「生き生き働く」状態を実現するために、ジョブ・クラフティングがどのように機能するのかを明らかにすることを目的とする。特に、従来軽視されがちであった認知的クラフティングに着目し、認知的クラフティングが業務クラフティングおよび関係性クラフティングを誘発するという理論モデルを提案した。A県内の中学校で勤務する学年主任およびその学年に所属する教員6名を対象に、7つの手立てを用いた学年マネジメントを実践し、事例分析を行った結果、本研究の理論モデルの妥当性が確認された。また、業務クラフティングや関係性クラフティングが逆に認知的クラフティングを促進する「逆流」も見られ、ジョブ・クラフティングの下位次元が相互に作用しながら発展することが示唆された。これにより、教員の職務適応や職場における支援方法において、認知的クラフティングを起点とした支援が効果的であることが示された。